

人権教育事業

○目的 八代市におけるあらゆる差別の解消を図るため、社会教育指導員や専門講師を活用し、人権意識の高揚を図る。また、各種大会、研修会に参加し、資質向上を図る。
人権教育活動の拠点である西宮・上日置集会所で行う解放学習会等を支援するとともに、建物の維持管理を行う。

○全体計画 各校区での人権教育研修会の実施、各種大会・研修会への参加。
小・中・高生の学習支援、地区内住民の解放学習、解放子ども会事業、地区内同和教育事業、集会所建物維持管理等の実施。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R 1年度：6,625千円	財源内訳：県支出金 845千円、一般財源 5,780千円
R 2年度：7,821千円	財源内訳：一般財源 7,821千円
R 3年度：13,951千円	財源内訳：合併特例債 5,800千円、一般財源 8,151千円
R 4年度：4,165千円	財源内訳：一般財源 4,165千円

○令和5年度の主な事業内容

- ・地区内同和教育事業 10名の講師により地区住民の解放学習の実施
講師謝金 1,500千円（R4：1,500千円、R3：1,500千円、R2：1,500千円、R1：1,600千円）
- ・解放子ども会事業 地区内の小・中・高生に対する学習会や体育スポーツ・レクリエーション等の開催
事業委託 219千円（R4：219千円、R3：219千円、R2：219千円、R1：243千円）
- ・地区内人権教育事業 地区内における学習計画の立案や解放講座等の開催
事業委託 400千円（R4：450千円、R3：450千円、R2：549千円、R1：609千円）
- ・集会所維持管理経費 1,574千円（管理謝礼 190千円、消耗品費 94千円、光熱水費 703千円、施設修繕 33千円、電話料 66千円、消防設備点検 39千円、機械警備・清掃業務 159千円、使用料・賃借料 290千円）
- ・工事請負費 6,100千円（空調機等改修工事）
- ・人権教育研修 ※部落解放・人権確立第42回全九州研究集会及び部落解放第35回熊本県研究集会（熊本市）、第51回熊本県人権教育研究大会（益城町）、熊本県市町村人権同和教育連絡協議会先進地視察（三重県津市・京都市）
- ・地域人権教育指導員 ※当面、設置しないことで確認済

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	人権教育事業 (旧：人権教育事業+ 地区内同和教育事業)	4,165	10,272	6,107					10,272	地区内人権教育講師謝礼：1,500千円 八代解放子ども会事業委託：219千円 地区内人権同和教育事業委託：400千円 西宮・上日置集会所空調機等改修工事：6,100千円

学校・家庭・地域の連携協力推進事業

- 目的 近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、家庭や地域の教育力の低下が見受けられる。未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域社会全体で子どもたちを守り育てる環境づくりを構築する。
- 全体計画 本事業では、地域学校協働活動（様々な学校協力活動）（放課後子ども教室）（地域未来塾）の教育支援活動を積極的に実施することにより、地域の実情に応じ、地域の力を活かして子どもを健全に育てることで、各事業の円滑な実施を図る。
- ・令和2年4月に八代市地域学校協働本部を設置し、教育部長を本部長とし、学校支援活動を継続的・安定的に活動を実施できるよう横の連携に努める。また、各学校に地域コーディネーターを配置している。
 - ・「地域学校協働活動」事業については、H29年度から第三中学校区にて事業を行っている。R2年度より、15小学校、5中学校、1支援学校で実施。R3年度よりすべての小中特別支援学校にて事業実施。
 - ・「放課後子ども教室」事業については、昭和小、泉小にて事業を展開している。（郡築小はR2年度より、ボランティアの確保ができず中止）
 - ・「地域未来塾」事業については、塾の講師や教員OB等を学習支援員として、塾に通えない子どもたちに学習習慣を身につけさせることや学力向上を狙い実施している。R5年度からは、別室登校者への対応は「様々な学校協力活動」に取扱いを変更。
 - ・地域コーディネーターの人材育成が課題となっているため、県の人づくり講座を活用しながら研修を実施し、地域社会全体で学校運営を行っていくことの必要性について、地域コーディネーター及び教職員等の意識を変えて行く取組を実施している。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R1年度：2,984千円	財源内訳：県支出金 1,936千円、一般財源 1,048千円	R3年度：6,535千円	財源内訳：県支出金 4,334千円、一般財源 2,201千円
R2年度：3,704千円	財源内訳：県支出金 2,429千円、一般財源 1,275千円	R4年度：6,718千円	財源内訳：県支出金 4,488千円、一般財源 2,230千円

○令和5年度の本予算額

- ・報償費：6,586千円
 会議出席時報償費（本部会議・連絡調整会議・CS）：1千円×21時間×39校
 学校の働き方改革を踏まえた活動：（1千円×4時間×12月＋853円×65時間）×27校
 放課後子ども教室学習指導員：1.2千円×1.5時間×50日＋853円×1.5時間×3人×50日）×2校
 地域未来塾：2千円×10時間×12月×10校
 講師謝礼：5千円×2時間×1回
 地域学校協働活動事業運営消耗品：8千円×39校
- ・消耗品費：312千円

○その他

- ・放課後子ども教室 参加児童数
 R1年度実績 郡築小 34人（1年～2年生） 昭和小 25人（1年～3年生） 泉小 13人（1年～2年生）
 R2年度実績 郡築小（中止決定） 昭和小 25人（1年～3年生） 泉小 13人（1年～2年生） 八竜小 2学期20名（1年～2年生）
 R3年度実績 昭和小 25人（1年～3年生） 泉小 8人（1年～2年生）
 R4年度実績 昭和小 18人（1年～3年生） 泉小 7人（1年～2年生）
- ・地域未来塾参加生徒数【R4年度実績】（延べ人数） 第一中（別室登校）208人・第三中（別室登校）243人・第四中300人・第六中164人
 第八中191人・日奈久中81人・二見中315人・千丁中163人・鏡中（別室登校）324人
- ・熊本県人づくり講座の開催 人材育成講座（第1回：69人、第2回：19人）

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	学校・家庭地域の連携 協力推進事業	6,718	6,996	278		4,644		28	2,324	・様々な協力活動：39校 ・放課後子ども教室（小学校）：2校 ・地域未来塾（中学校）：9校

社会教育事業

○社会教育委員会

目的 教員委員会の諮問機関としての活動や青少年教育に関する指導的な活動等を行い、多様化する社会教育のニーズを施策に反映する。

委員の設置 委員数 委員会議の開催 委員報酬 177千円(5,900円×10人×3回) (12人：うち2人は校長会代表)
九州ブロック社会教育研究大会(宮崎市)、熊本県社会教育委員連絡協議会理事会等への参加
費用弁償:31千円 負担金：16千円(熊本県社会教育研究大会1,200円×13人他)
機関紙「社教情報」等の購読：27千円

○社会教育指導員

目的 市民の社会教育活動に対する指導及び助言を中心に生涯学習の支援に関する業務を行う。
社会教育指導員給与：4,127,040円(117,300円×2人×12月+109,320円×1人×12月) 期末手当(6月：12月733,579円)
社会教育指導員社会保険料：478,083円(4,995,647円×95.7/1000) 雇用保険77,432円(4,995,647円×15.5/1000)

○社会教育団体

目的 本市における社会教育の振興を図るため、団体の実施する事業に対し補助及び人的支援を行う。

	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
市地域婦人会連絡協議会	1,220千円	1,098千円	1,098千円	1,098千円	1,068千円
市子ども会連合会	445千円	265千円	240千円	240千円	240千円
市PTA連絡協議会	571千円	513千円	513千円	513千円	513千円

○二十歳の集い

目的 民法改正により、二十歳において次代を担う若者達を激励し、祝福するため開催する。
二十歳での実行委員会を組織し、八代市二十歳の集いの企画運営を委託し、実施する。
開催日：令和6年1月7日(日)(予定) 場所：八代トヨオカ地建アリーナ(八代市総合体育館)(予定)
対象者：平成15年4月2日～平成16年4月1日生
二十歳の集い企画運営委託料：1,000千円 交通誘導警備委託料等：473千円 施設使用料：168千円

○協議会負担金

熊本県社会教育委員連絡協議会：5千円

○その他の社会教育事務経費

パフォーマンスチャージ料、公用車車検代、コピー賃借料 624千円

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	社会教育事業	11,611	11,818	207					11,818	社会教育委員報酬 177千円 社会教育指導員給与 4,861千円 社会教育団体補助金 1,821千円 二十歳の集い開催経費 2,261千円

青少年体験活動事業

○目的 小学生を対象に、各種の生活体験や自然体験等の体験講座を開催し、家庭や学校で経験できない活動を通じ、他校の児童、生徒及び異学年との触れ合いを通して子ども達の健全育成を図る。

○全体計画 豊かな自然の中での野外活動や集団生活を通じて自主性や協調性を育み、地域との交流を深めながら豊かな感性と健全な心身の育成を図る。また、親子で共に体験活動を行い、驚きや感動を共有し親子の絆を深め、市内外各地域を会場として体験プログラム（キッズチャレンジ）を企画し、開催する。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R2年度： 617千円 財源内訳：その他（参加料）383千円、一般財源 234千円

R3年度： 595千円 財源内訳：伝統文化親子教室事業委託金 87千円、その他（参加料）383千円、一般財源 234千円

R4年度： 579千円 財源内訳：その他（参加料）358千円、一般財源 221千円

○令和5年度の主な事業内容（予定含む）

- キッズチャレンジ2023 「アウトドアスクール」
 会場：県立豊野少年自然の家 参加対象者：小学4～6年生の児童及び高校生ボランティア 34人
 日程：2泊3日（夏休み） 内容：ペーロン体験・流木ストラップづくり・キャンプファイヤー 他
- キッズチャレンジ2023 「子ども陶芸教室」
 会場：赤星公園・水竹居の館 参加対象者：小学4～6年生の児童 27人
 日程：1日（夏休み） 内容：陶芸体験
- キッズチャレンジ2023 「宿泊体験活動」
 会場：坂本青少年センター 参加対象者：小学4～6年生の児童 10人
 日程：1泊2日 内容：調理体験・木工体験 他
- キッズチャレンジ2023 「親子体験教室」
 会場：東陽 参加対象者：小学1～6年生の児童・保護者 約10組
 日程：1日 内容：東陽町フットパスコースのウォーキング・段ボール窯でピザづくり

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	青少年体験活動事業	579	603	24				324	279	講師謝礼・マイクロバス運転業務委託料・施設使用料・賄材料費・消耗品費 等

生涯学習推進事業

○目的 市民が、生涯にわたって、気軽に、誰でもが、芸術文化活動、スポーツ活動、社会参加に通じる学習活動などに参加することができ、その成果を適切に生かすことのできる地域社会の実現を目指す。

○全体計画 市民の教育力の向上を目指し、世代別・地域別等の学習ニーズに応じた「おでかけ公民館講座」をはじめとした体験型学習講座を開設する。
 家庭の教育力の向上を目指し、小中学校や幼稚園、保育園ごとに「家庭教育学級」を開設し、学習支援を行う。
 「まなびフェスタ」を開催し、市内の学習活動を広く市民へ紹介するとともに、舞台発表や作品の展示等を通じた学習成果の発表の場を提供する。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R2年度：2,469千円 財源内訳：その他（受講料）531千円、一般財源 1,938千円
 R3年度：2,320千円 財源内訳：国（伝統文化親子教室事業委託金）245千円、その他（受講料）321千円、一般財源 1,754千円
 R4年度：2,721千円 財源内訳：（受講料）803千円、一般財源 1,918千円

○令和5年度の主な事業内容

- ・ 家庭教育学級：186千円（講師謝金175千円、講師旅費5千円、消耗品費6千円 他）
 - ①市内保育園、幼稚園、小・中学校単位による学級開設（令和4年度実績：61学級）
 - ②全体研修会（市内全学級を対象とした研修会を開催）
- ・ 公民館講座：1,507千円（講師謝金1,137千円、講師旅費56千円、消耗品費400千円、冷暖房使用料13千円、通信費63千円 他）
 かんたんスマホ講座、ITキャリアアップ講座、健康講座、ヨガ講座など32講座を開催予定
- ・ まなびフェスタやつしろ：927千円（団体等謝金141千円、講師派遣委託660千円、消耗品費27千円、印刷製本費42千円 他）
 講演会、学習クラブ活動発表、食バザー、体験講座、学習作品展示 等

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	生涯学習推進事業	2,721	2,938	217				1,070	1,868	講師謝礼、消耗品費、まなびフェスタやつしろ開催経費

図書館管理運営事業

○目的 生涯学習の中核施設及び地域の情報センターとして、市民の読書活動、学習活動、調査研究活動等を支援し、市民の教育と文化の発展に寄与するため、必要な図書資料等を収集、整理、保存し貸出又は閲覧に供するとともに、読書活動を推進する自主事業等を行い、学習活動や文化活動の機会を提供する。

○全体計画 平成27年度から指定管理者制度を導入し、委託を行っている。令和2年度から再契約し、4年目となる。20万円を超える修繕等を計画的に行う。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R2年度：142,448千円 財源内訳：その他（使用料他）642千円、一般財源141,806千円
 R3年度：140,641千円 財源内訳：その他（使用料他）842千円、一般財源139,799千円
 R4年度：142,278千円 財源内訳：その他（使用料他）830千円、一般財源141,448千円
 ※H27年度から指定管理制度導入により、本館・せんちょう分館・かがみ分館を含む運営経費となっている。

○R5年度の主な予算額

- ・委託料：133,861千円 指定管理委託料 指定管理委託料
- ・修繕料：400千円 施設設備修繕（リスク分担対応分） 指定管理期間：R2.4.1～R7.3.31(5年)
- ・報酬：95千円 図書館協議会委員報酬 委託先：TRCグループ共同企業体
- ・委託料：2,746千円 図書システム保守点検委託 委託金額：総額 670,208千円
- ・使用料：3,756千円 図書システム及び機器リース代

○R5年度の主な事業内容

- ・「八代市子ども読書活動推進計画【第三次】」の策定 (年度内訳) 2年度 134,764千円
- ・「八代市立図書館運営方針」の改定 3年度 133,861千円
- ・図書館協議会の開催 4年度 133,861千円
- ・ブックスタート事業 5年度 133,861千円
- ・電子図書館利用促進 6年度 133,861千円

※令和2年10月1日より、分館時間短縮：-1,806千円

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	図書館管理運営事業	140,833	142,278	1,445				830	141,448	指定管理委託料 修繕料